

# 小児科系レジデント研修手帳 20071203

## 1. 対象

静岡てんかん・神経医療センターで臨床てんかん学の研修を目指す小児科系レジデント・専修医等を対象とします。

## 2. 一般目標

- 基本的な小児てんかんの病歴をとる事ができる。
- 基本的な小児の神経学的診察ができる。
- 小児てんかん患児の発達を、診察所見・検査所見から評価できる。
- 指導医の助言のもとに、一般神経学的症状・症候より小児てんかんの診断、治療、指導が行える。
- 小児てんかんの基本的検査法を理解し、検査結果の意味を理解し、診断、治療に役立てられる。

## 3. 行動目標

下記の小児てんかんについて知識・診療技能・検査の実施または解釈を身につける。

### A—レベル：

- 対象：熱性けいれん、憤怒けいれん、小児欠神てんかん、West 症候群、良性小児てんかん（ローランドてんかんなど）、側頭葉てんかん、前頭葉てんかん、後頭葉てんかん、乳児重症ミオクロニーてんかん、若年欠神てんかん、若年ミオクロニーてんかん、覚醒時大発作てんかん、徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかん。
- てんかんの原因に関する検査ができる（染色体異常、奇形症候群、神経皮膚症候群、先天性代謝異常、など）。
- てんかん発作と状況関連性発作（機会発作）との鑑別ができる。
- 抗てんかん薬の薬物動態を理解する。
- てんかん発作重積状態の救急治療ができる。
- 小児や家族の訴えや話をよく聞き、病状を説明し、小児や家族との良き人間関係を得ることができる。

### B—レベル：

- 対象：小児の慢性進行性持続性部分てんかん、新生児けいれん、レンノックス・ガストー症候群、ミオクロニー失立発作てんかん、ミオクロニー欠神てんかん、

早期ミオクロニー脳症、太田原症候群、その他のてんかん。

- 内側側頭葉てんかんの外科術前評価ができる。

C—レベル：

- 小児てんかんの行動異常、言語発達遅滞について理解する。
- 発作誘発様態について理解する。
- 自閉症などの軽度発達障害について理解する。
- 側頭葉以外の局在関連性てんかんの外科術前評価ができる。
- てんかん児の神経機能，心身の状態を適切に評価し，予後を推定し，専門家その他関係するスタッフの助言協力を得て，治療・療育計画を立案し，患児ならびに家族の療育指導を行うことができる。

最終目標レベル：

日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会認定医の取得を目指す。

日本小児神経学会：<http://child-neuro-jp.org/>

日本てんかん学会：<http://square.umin.ac.jp/jes/>

#### 4. てんかん診療の理念

てんかんの子供は、てんかん発作だけでなく、いろいろな問題を抱えててんかんセンターにやってきます。例えば、運動障害、発達障害、認知機能障害、精神医学的障害、頭痛（発作関連、偏頭痛）、睡眠障害、生殖機能障害、骨疾患などです。このような多面的問題を解決してあげるために、医師だけでなく、以下のような多職種 of 専門家が、それぞれの得意とする分野でかかわります。このような医療を包括医療と呼んでいます。

- てんかん看護師：家族の指導・教育、患児の生活指導なども行います。
- 薬剤師：服薬指導などを行います。
- ソーシャルワーカー：医療費問題などの相談に乗ります。
- 心理士：心理検査などを行います。
- 発達支援室：広汎性発達障害児などの生活アドバイスを行います。
- 作業療法士：高次脳機能リハビリなどを行います。
- 理学療法士：歩行訓練など身体機能リハビリを行います。
- 聴覚言語療法士：嚥下摂食障害、構音機能障害などの訓練を行います。
- 療育・児童指導員：病棟のプレイルームなどを拠点に乳幼児の発達指導・評価を行います。
- 検査・放射線技師：検査を担当します。

- 訪問教育教師：院内学級で義務教育年限の子供の教育を担当します。
- 治験コーディネーター（CRC）：治験薬で治療中の患者さんのお世話をします。

## 5. 一般的心得

てんかん病棟における研修は、病棟医長・病棟副医長の指導の下に進めてください。

- 担当患者の退院・感染症発症・急変・重積発作等については、報告・連絡・相談をお願いします。
- 治療方針は常日頃、病棟医長・病棟副医長とよく相談し、病棟回診において院長・副院長の意見を聞いてください。
- 退院サマリー・紹介状等の他の医療機関への連絡文書については校閲してもらいましょう。

てんかん初診外来における研修は、初診担当医の指導の下に進めてください。

- 外来看護師長に当日の担当患者（1-2名）を確認します。
- 成人期の患者さんを担当することもあります。
- 初診患者の問診をとり、脳波・画像検査所見を把握した後、初診医に説明します。
- 初診医の診察の後、疑問点等を質問し、指導を受けてください。

## 6. 長期的スケジュール

	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7～
てんかん初期講義	○						
てんかん初診外来研修	2日/週	2日/週	2日/週	1日/週	1日/週	1日/週	1日/週
てんかん病棟研修	1-2名	2-5名	2-数名	2-数名	2-数名	2-数名	2-数名

てんかん初期講義は毎年4月の研修開始直後に1-2週間で行います。

- 小児てんかんの診断・治療プロセス：研修責任者（高橋幸利）
- 小児てんかんの脳波：重松秀夫医長
- 小児てんかんの画像診断：松田一己医長

てんかん初診外来研修：

- 病院新採用オリエンテーション終了後に開始します。
- 担当曜日は、研修責任者と皆さんとの相談で決めます。

小児てんかん病棟研修：

- 主に A4 病棟・A5 病棟に配属されます。
- 原則的には 1 年後、 A4 病棟⇔A5 病棟の配属を交代します。
- 3 年目以降については A4 病棟・A5 病棟に配属のまま、A3、A6 病棟の成人てんかん症例での研修も行います。

## 7. 週間スケジュール

	月曜		火曜		水曜		木曜		金曜	
	研修内容	場所・担当	研修内容	場所・担当	研修内容	場所・担当	研修内容	場所・担当	研修内容	場所・担当
7時30分			7:30 Doose抄読会	東館2F	7:30 抄読会 (Personality in Epilepsy)	医局	8:00 Epileptic syndrome 抄読会	東館2F	8:00 外来カンファレンス	外来
8時30分			8:30-9:30 A3 病棟回診				8:30-9:30 A5 病棟回診		8:30-9:30 A6 病棟回診	
9時										
10時										
11時										
12時										
13時										
14時										
15時							15:30 A4 病棟回診			
16時			外科症例検討会+医局会(2・4週)	外来棟3F カンファレンスルーム						
17時		症例検討会			外来棟3F カンファレンスルーム			発作ビデオ検討会	中央脳波室・下村検査科医長他	
18時						小児てんかん症例合同検討会	毎月最終木曜日 A4 学習室			

- 小児てんかん研修中の方は、外科症例検討会（毎週火曜16時）、症例検討会（毎週水曜17時）、小児てんかん合同症例検討会（毎月最終木曜日18時）、発作ビデオ検討会（毎週金曜日17時）に必ず参加してください。
- 症例検討会（毎週水曜17時）は、順番で症例・話題を提示していただきます。なるべく、レジメなどをご用意ください。
- 小児てんかん合同症例検討会（毎月最終木曜日18時）は、カルテ・脳波・画像を見ながら自由に相談します。レジメは不要です。
- 小児科抄読会（毎週火曜日8時）、抄読会（毎週水曜日7:30）、外来カンファレンス（毎週金曜日8時）にも可能な限り参加ください。

## 8. 臨床研究・学会発表

- 学会発表・論文投稿などは認定医・専門医をとるために必要です。東海てんかん集談会、静岡小児神経研究会、静岡小児科地方会などへの症例報告を手始めに、配属先の病棟医長・副病棟医長とよく相談して進めてください。
- 臨床研究は臨床研究ガイドラインにしたがって行います。希望者は臨床研究長に相談してください。

## 9. 学会研修施設

### 施設認定

- ・ 日本小児科学会専門医・認定医制度による研修施設  
(指導責任医師：高橋幸利)
- ・ 日本小児神経学会小児神経科専門医制度による研修施設  
(指導責任医師：高橋幸利)
- ・ 日本脳神経外科学会専門医認定制度による研修施設  
(指導責任医師：松田一己)
- ・ 日本神経学会専門医教育施設 (指導責任医師：溝口功一)
- ・ 日本てんかん学会認定研修施設 (指導責任医師：藤原建樹)
- ・ 外国医師臨床修練指定病院 (指導責任医師：井上有史、馬場好一)
- ・ 特定承認保険医療機関
- ・ 国立病院機構による神経・筋東海北陸ブロック基幹施設
- ・ 国立病院機構による重症心身障害専門医療施設
- ・ 国立病院機構による国際協力担当施設

### 専門医等

- ・ 日本てんかん学会認定医 14名
- ・ 身体障害指定医 (肢体不自由) 21名
- ・ 精神保健指定医 3名
- ・ 日本神経学会専門医 8名
- ・ 小児科専門医 8名
- ・ 小児神経専門医 5名
- ・ 脳神経外科専門医 4名
- ・ 外科専門医 1名
- ・ 日本医師会認定産業医 1名
- ・ 臨床遺伝専門医 1名



